

大東島取調書

沖繩縣
大東島

大東島

- ① 奈良原繁の大東島取調書
 - 1. 総説 2. 視察日記 3. 地誌
 - 4. 糖業の状況 大東島概況
- ② 明治18年出雲丸の踏査
石澤兵吾の視察記
- ③ 明治24年米國船被助
被助真相手記, 産田の報告
- ④ 南鯤心得, 命令書(明治25年2月2日)
- ⑤ 古賀辰巳部 御届, 南鯤届出者
- ⑥ 明治18年大東島巡視取調書(附~~付~~書, 其の他)
- ⑦ 明治18年大東島巡視取調概略
石澤兵吾の意見書
- ⑧ 大東島取調の南鯤手件
- ⑨ 明治25年石澤兵吾の糖業
樹木の種類 糖業手続, 学会以後

大東島
取調書

27

26

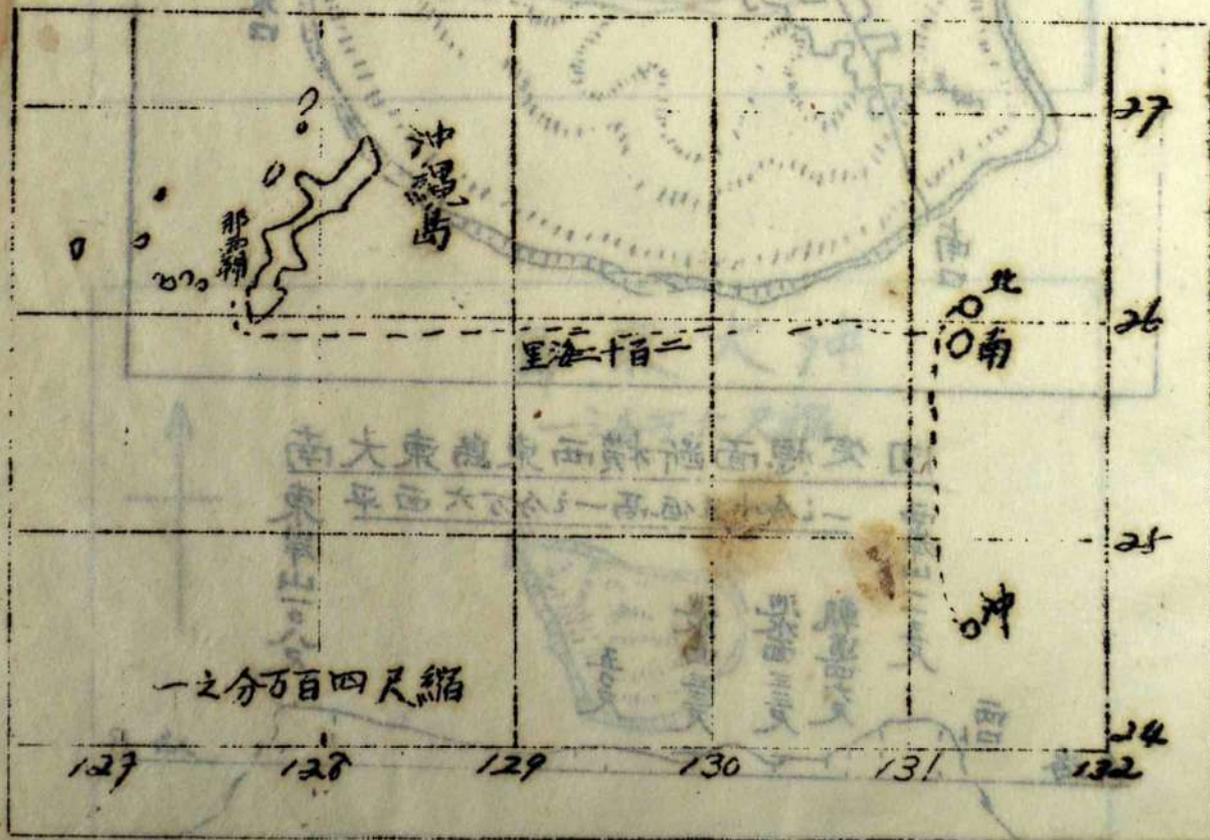
25

24

沖繩縣 大東島
島尻郡

大東島廣表面積

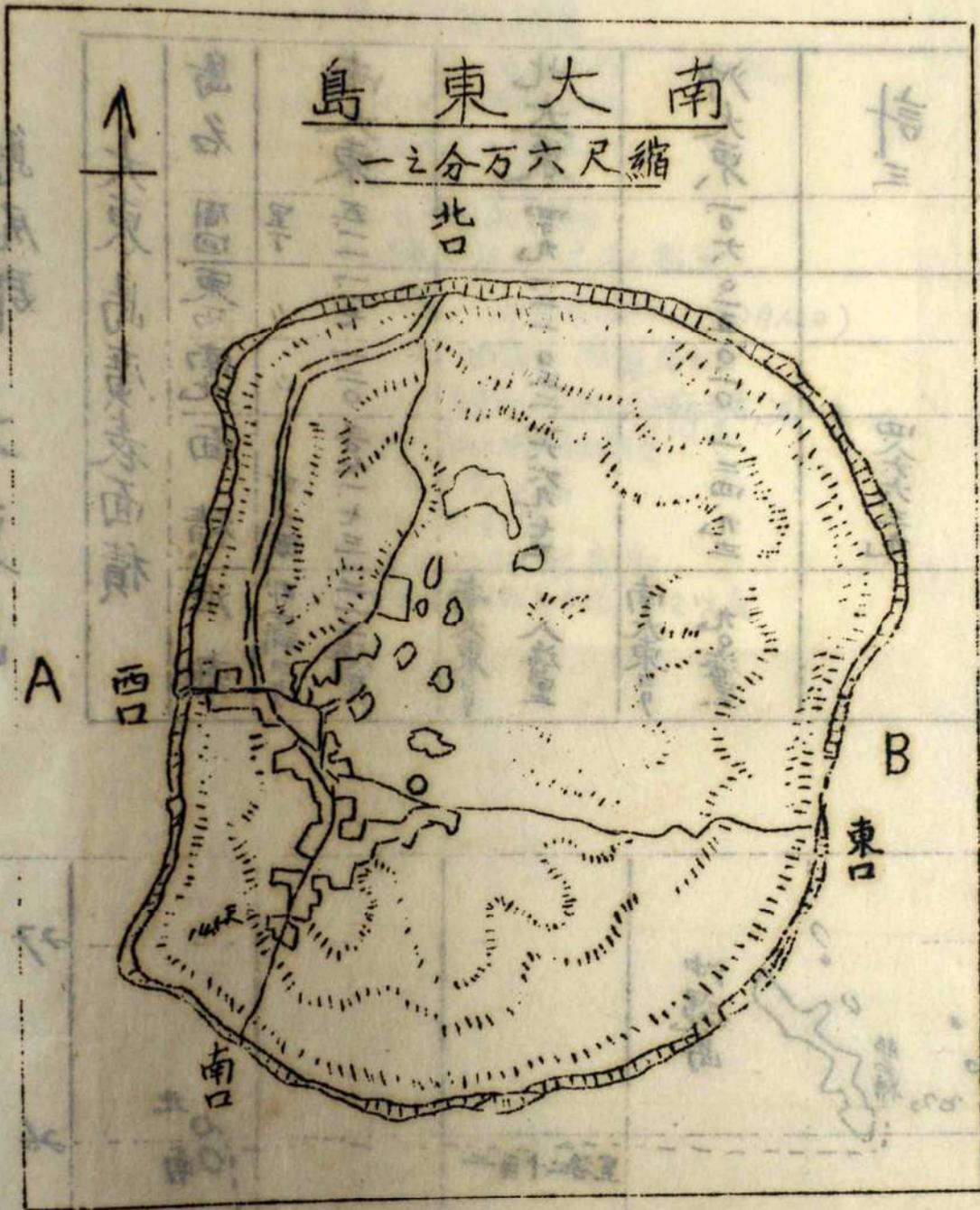
計三	沖大東	北大東	南大東	島名
	一〇六〇五〇〇	四九一三二〇三	五二二七二〇三	周回東西南北面積
四六六三九	一三四九三	三七一七三	距離	
	九〇海里	八海里	町及畝 那覇ヨリ	
	南大東ヨリ	南大東ヨリ		



南大東島

縮尺六万分之一

北



南大東島東西橫斷面想定圖

平面六万分之一 高低五十分之一

東岸山二八尺

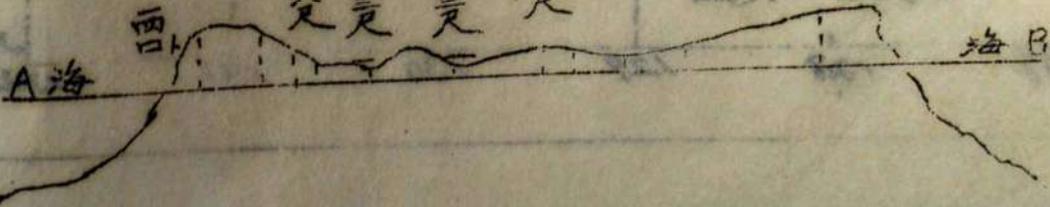
五尺

池水面三尺

池水面三尺

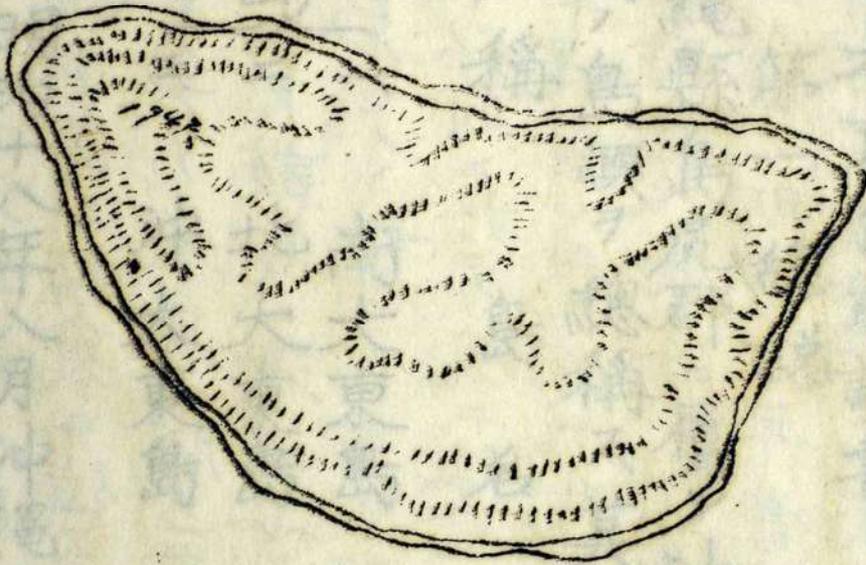
軌道四尺

西岸山二五尺



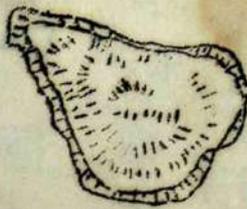
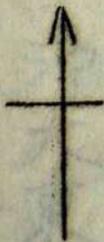
北大東島

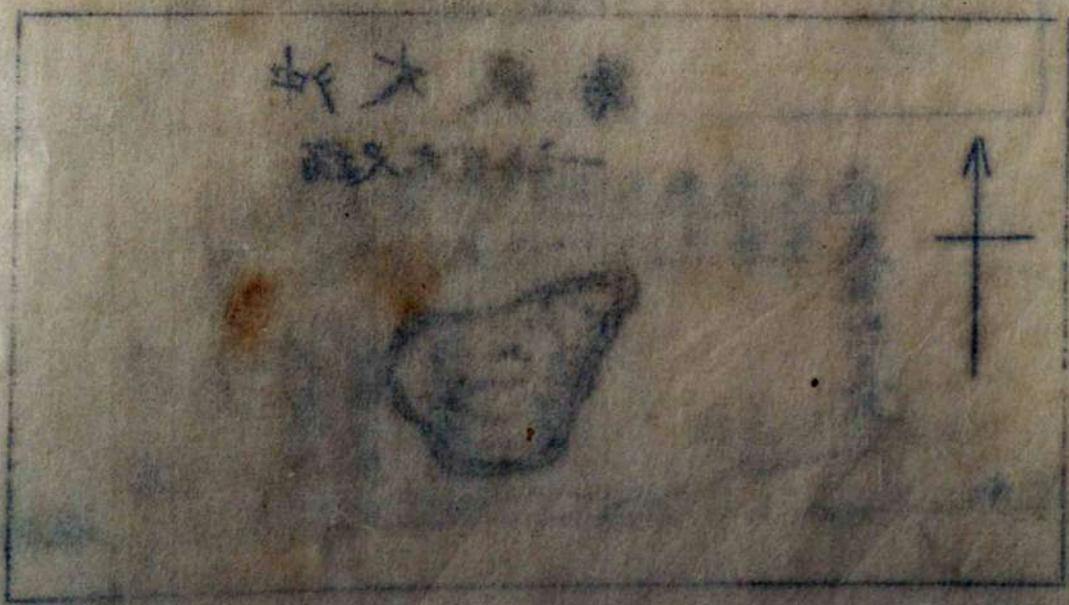
縮尺大万分之二一



沖大東島

縮尺大万分之二一





大東島取調書

第一總説

大東島ハ沖繩縣島尻郡ニ屬シ沖繩本島ノ東方約二百有餘海里ニアル三個ノ島嶼ヲ總稱ス其ノ島名左ノ如シ

總稱 島名

(英國版海圖ニ記載セル島名)

南大東島

南ボロヂノ島

大東島

北大東島

北ボロヂノ島

沖大東島

島

南北大東島ハ明治十八年八月沖繩縣ノ管轄トシ沖大東島ハ同

三十三年十月沖繩縣ノ區域ニ編入セラレタルモ猶絶海無人ノ境アリ

獨リ南大東島ハ三十三年以降玉置半右衛門之ヲ開拓シ目下

移住民男百十九名女百壹名合セテ貳百貳拾名アリ
南北大東島ハ古来沖繩縣人間ニ知ラレタルモノニシテ大東島
ナル稱呼ハ沖繩本島ノ極東ニ位スル島嶼ノ意義ニ依リ沖繩縣
人ノ命名シタルモノナリ、本島ニ関シテハ沖繩縣ノ舊記書類等ニ
何等記載セシモノナク該島ニ漂着セシモノ、口牌ニ傳ハリテ島嶼ノ
存在ヲ知ルニ至レルモノ、如シ
大東島ハ嘉永以前ニ於テ夙ニ外人ノ探檢セシ證據アリ就中嘉永
六年米國海軍提督ペルリ氏ガ我が浦賀ニ来リシ前先ヅ那覇
ニ投錨シ尋テ當時無人島タリシ小笠原島ト往復ノ際之ヲ探檢
セシモノ、如シ其ノ後ノ明治十八年當時ノ縣令西村捨三氏ハ内務省
ノ内命ヲ受ケ屬官ヲ派遣シテ南北大東島ヲ探檢セシメ又明治
二十五年海門艦長海軍大佐柴山矢八氏ハ佐世保鎮守府司令長官

明治三十四年十二月七日

知事

内務部長

参事官

大東島支配方ノ件

大東島ヲ本縣管下ニ屬スル事ハ過ル十八年中其ノ筋ヘ伺定
ノ次第モ有之候ヘ共其ノ何レノ地方ニ屬スルヤニ至テハ未ダ今日迄
確定不致候處追々該島ニ向ツテ移住開墾ヲ企圖スルモノ有之
既ニ第二課主管ニテ起案御聞届相成候事例モアリ將來
該島ニ交渉スル事務モ相生ジ所屬未定ニテハ不都合不甚儀
ト被存候条差向キノ處那霸役所ニ支配セシメ可然哉

第一条案相伺候

附言 地理上ヨリ觀察セバ或ハ國頭役所ニ接近スルヤモ知ルベカラ

屬

第一課長

第二課長

柳原保太郎

庶務係

地理係

大東
スト虽モ鳥島ヲ那霸役所ニ於テ所管スルハ例モ有之且ツハ
該島ニ関スル諸願等モ那霸役所ニ支配セシメ候方公私ノ便
ト被存候ニ付キ此段申添置候

將又阿根久場島所管ノ儀ニ付キ別紙ノ通り八重山島役所
所長ヨリ伺出候處右ハ目下所轄ノ義ニ付キ其ノ筋ハ経伺中ニ
候ハ共地理上本邦ノ藩圖タルコトハ明瞭ナル次第ニ有之差向キノ
處大東島今様ノ取扱振リヲナシ八重山島所ニ支配セシメ候方
急務ト存候ニ付キ第二案ノ通り御訓令可然哉
尚ホ第一案第二案御決判ノ上ハ第三案ヲ以テ内部部長ヨリ
各役所長及各部署通牒可然歟

第一案

訓令第四十四號

那霸役所

大東島ノ義追テ所屬ノ確定スル迄テ其ノ役所ニ於テ支配
之該島ニ係ル諸願等ハ總テ經由スル義ト心得ベシ

明治廿四年十二月十日

知事

訓令第四十五號

第二案

八重山島役所

阿根久場ノ義追テ所屬ノ確定スル迄其ノ役所ニ於テ支配シ
該島ニ係ル諸願等ハ總テ經由スル義ト心得ベシ

明治廿四年十二月十日

知事

第三案

大東島及阿根久場(那霸役所ノ長ハ大東島及四字八重山役所)支配ノ
所長ハ阿根久場島ノ大字ヲ割ル

義ニ付キ今般別紙寫ノ通り訓令相成候ニ付キ為心得

義ニ付キ今般別紙寫ノ通リ訓令相成候ニ付キ為心得
此段及通牒候也

明治廿四年 十二月十日

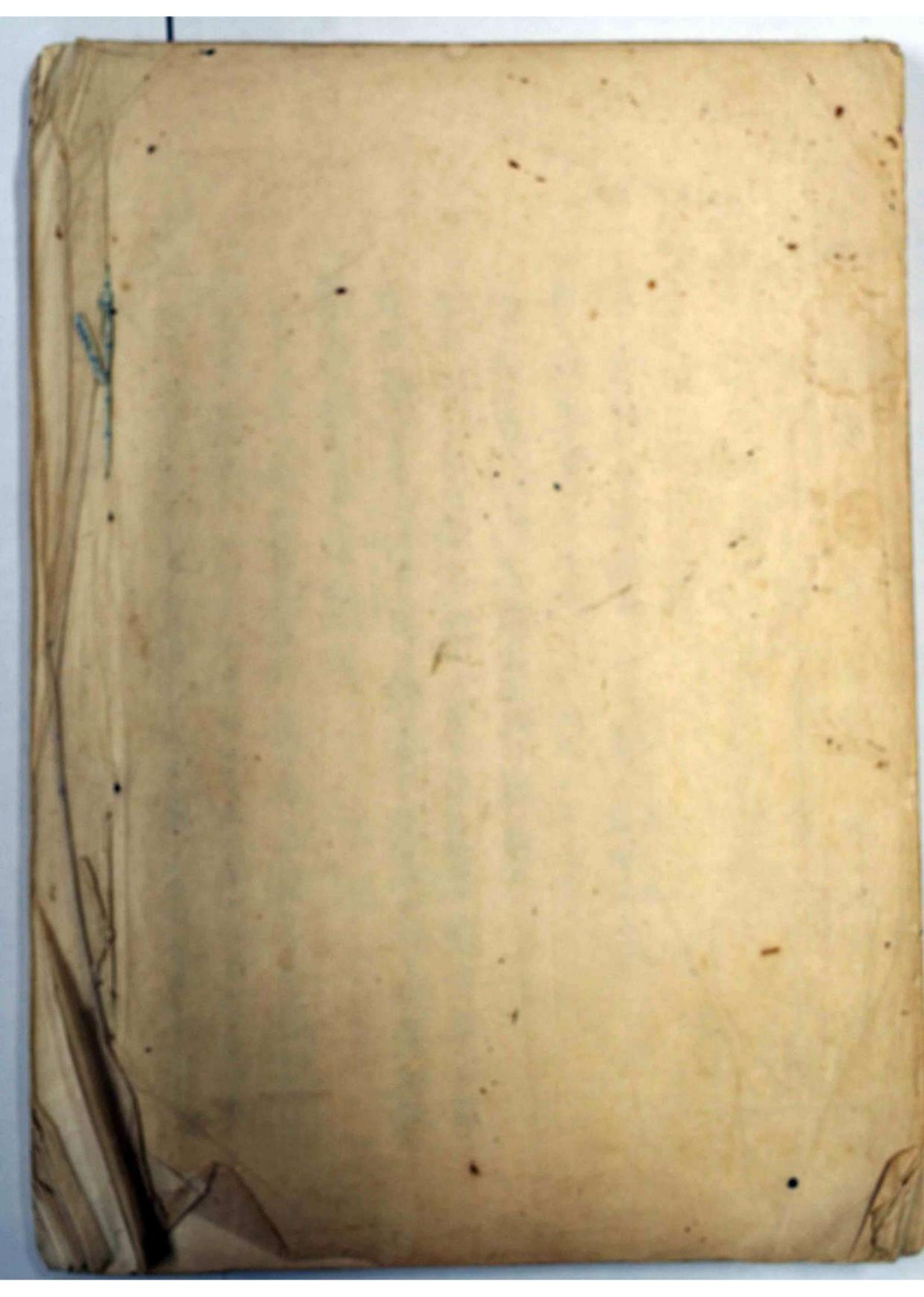
内務部長

各部署長及各役所之長宛(但シ部署長宛ノ分ニハ心得上
并ニ通牒ノ上ニ御字ヲ加フ)
八重山役所之長左ノ追書ヲ加フ

追テ阿根久場島ノ義モ今般第四十五號訓令ノ次第有之候
ニ付キ別紙伺書ハ及返却候也

一 明治三十一年度 砂糖產出額概算表

名稱	員數	量目	摘要
再製糖	貳百七拾壹俵	四千三百三十六貫	輸出セシ分
全上	貳百俵	參千貳百貫	未分 輸出セサル分見積
白下糖	壹百七拾八樽	四千六百九十三貫	輸出セシ分



第一、総説

大東島ハ沖縄県島尻郡ニ属シ沖縄本島ノ東方約二百有余海里ニアル三個ノ島嶼ヲ総称ス其ノ島名左ノ如シ

総称	島名	(英国版海図ニ記載セル島名)
大東島	一、南大東島	南ボロヂノ島
	二、北大東島	北ボロヂノ島
	三、沖大東島	ラサ島

南北大東島ハ明治十八年八月沖縄県ノ管轄トシ沖大東島ハ同三十三年十月沖縄県ノ区域ニ編入セラレタルモ猶絶海無人ノ境タリ独り南大東島ハ三十三年以降玉置半右衛門之ヲ開拓シ目下移住民男百十九名女百台名合セテ二百二十名アリ

明治二十四年十二月七日 属 柳原保太郎

知事 第一課長 庶務係

内務部長 第二課長 地理係

参事官

大東島支配方ノ件

大東島ヲ本県管下ニ属スル事ハ十八年中其ノ筋ヘ伺定

ノ次第モ有之候ヘ共其ノ何レノ地方ニ属スルヤニ至テハ今日迄

確定不致候処追々該島ニ向ツテ移住開墾ヲ企図スルモノ有之

既ニ第二課主管ニテ起案御聞届相成候事例モアリ将来

該島ニ交渉スル事務モ相生ジ所属未定ニテハ不都合不尠儀

ト被存候条差向キノ処那覇役所ニ支配セシメ可然哉

第一条案相伺候

附言 地理上ヨリ觀察セバ或ハ国頭役所ニ接近スルヤモ知ルベカラ

ズト雖モ鳥島ヲ那覇役所ニ於テ所管スルノ例モ有之且ツハ

該島ニ関スル諸願等モ那覇役所ニ支配セシメ候方公私ノ便

ト被存候ニ付此段申添置候

将又阿根久場島所管ノ儀ニ付キ別紙ノ通り八重山役所

所長ヨリ伺出候処右ハ目下所轄ノ儀ニ付キ其ノ筋ヘ経伺中ニ

候ヘ共地理上本邦藩図タルコトハ明瞭ナル次第第二有之差向キノ

処大東島同様ノ取扱振リナシ、八重山島所ニ支配セシメ候方

急務ト存候ニ付キ第二案ノ通り御訓令可然哉

尚ホ第一案第二案御決判ノ上ハ第三案ヲ以テ内部^務部長ヨリ

各役所長及各部署通牒可然歟

第一案

訓令第四十四号 那覇役所

大東島ノ義追テ所属ノ確定スル迄テ其ノ役所ニ於テ支配

シ該島ニ係ル諸願等ハ総テ經由スル義ト心得ベシ

明治二十四年十二月十日 知事

第二案

訓令第四十五号 八重山島役所

阿根久場ノ義追テ所属ノ確定スル迄テ其ノ役所ニ於テ支配シ
該島ニ係ル諸願等ハ総テ經由スル義ト心得ベシ

明治二十四年十二月十日 知事

第三案

大東島及阿根久場（那覇役所々々長へハ大東島及四字八重山役所所長へハ阿根久場島ノ大字
ヲ削ル）支配ノ

義ニ付キ今般別紙写ノ通り訓令相成候ニ付キ為心得

此段及通牒候也

明治二十四年十二月十日 内務部長

各部署長及各役所々々長宛（但シ部所長宛ノ分ニハ心得ノ上並ニ通牒ノ上ニ御ノ字ヲ加フ）
八重山役所々々長左ノ追書ヲ加フ

追テ阿根久場島ノ義モ今般第四十五号訓令ノ次第有之候

ニ付キ別紙伺書ハ及返却候也